

平成 25 年 12 月 13 日
連携・協力推進会議
これからの学術情報システム構築検討委員会
国立情報学研究所

総合目録データベースのデータ公開に関するパブリックコメント
募集のお願い

(1) 趣旨

国立情報学研究所は、目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）を運営し、オンライン共同分担目録方式により全国規模の総合目録データベースを構築してきました。総合目録として作成されたデータは、参加館の図書館システムにダウンロードして OPAC 等で利用されるとともに、国立情報学研究所の検索サービス（CiNii Books 等）でも利用しています。

一方で昨今、オープンデータの取組みが世界的に進展していることにもとない、数多くの図書館および関連機関の書誌データや典拠データが公開され、これらのデータを国際的に連携して流通させる仕組みが整備されてきました。さらに、さまざまなウェブサービスに活用されています。このようなデータ連携を可能にするためには、利用条件を明示したライセンスを付与し、機械可読形式のデータを公開することが望まれます。2012 年 3 月に刊行された『電子的学術情報資源を中心とする新たな基盤構築に向けた構想：学術コンテンツ運営・連携本部 図書館連携作業部会報告書』においても、メタデータのオープン化と相互接続性（相互運用性）の確保が提言されており、「NACSIS-CAT/ILL についても、大学図書館等の参加機関を含めた組織面、制度面での整備が急務となっている。」という指摘がなされました。

【参考】http://www.nii.ac.jp/content/archive/pdf/content_report_h23_with_glossary.pdf

このような背景をうけて、国立情報学研究所と国公私立大学図書館協力委員会との連携・協力を推進する連携・協力推進会議（第 5 回：平成 25 年 2 月 1 日開催）において、総合目録データベースのデータをオープン化する方向で検討することが了承されました。本会議の下部委員会である「これからの学術情報システム構築検討委員会」で詳細を検討し、総合目録データベースのデータ公開方針の策定にむけて検討をすすめています。

つきましては、以下のとおり、ご意見を募集いたします。

(2) ご意見をいただきたい点

総合目録データベースのデータ公開についてご意見いただきたい点は以下の通りです。

①総合目録データベースのデータを公開することについて

書誌情報・所蔵情報・著者名典拠情報・統一書名典拠情報・参加機関情報について、対象ごとに公開範囲を定め、データの公開を行います。

従来は、参加機関が自機関のデータを利用する場合にのみ機関単位に書誌・所蔵データを抽出できましたが、利用できるデータの範囲が広がります。

なお、現在、想定している総合目録データベースの公開方法（案）は別紙のとおりです。

②データ公開の主体を国立情報学研究所とすることについて

目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）を運営する国立情報学研究所が、参加館を代表して、データ公開の責任と権限を持つこととします。また、データベース自体のライセンスの主体も国立情報学研究所とします。

③国立情報学研究所と連携・協力推進会議が、協議の上、データ公開の運用を行うことについて

データ公開方法やデータ公開範囲の制限等、実際の運用に関しては、国立情報学研究所と連携・協力推進会議が、協議の上、詳細を決定します。

④クリエイティブ・コモンズのライセンスの下で「表示」（CC-BY）を適用することについて

クリエイティブ・コモンズ(Creative Commons)のライセンスとは、作者が著作権を保持したまま、データを流通させる際の条件について意思表示するための仕組みです。受け手はライセンス条件の範囲内で利用できるようになります。

総合目録データベースのデータを公開するにあたり、個別のデータではなく、データベース全体のライセンスとして、「表示」（CC-BY）を適用します。

CC-BY ライセンスでは、クレジット（権利の帰属）の表示を条件に、自由な改変および営利目的での二次利用も許可されます。当面、「表示」 2.1 日本（CC BY 2.1 JP）を適用しますが、原則的にバージョンの改訂に追隨していきます。

【参考】 <http://creativecommons.jp/>

なお、参加機関が自機関のデータを利用・公開する場合に、ライセンスの表示を求めるものではありません。

⑤その他

具体的な公開方法等に関するご意見・ご質問がありましたらお願いします。

(3) 意見等募集期間

平成 25 年 12 月 13 日 (金) ～平成 26 年 1 月 17 日 (金)

(4) 回答方法

回答フォームには **SurveyMonkey** を使用しております。下記のサイトから回答フォームにアクセスしてご回答ください。

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/project/od2013/index.html>

(5) 今後のスケジュール

時期	内容
平成 25 年 12 月～翌 1 月	参加館の意見招請 (パブリックコメント)
平成 26 年 1 月	これからの学術システム構築検討委員会でデータ公開方針案を策定
平成 26 年 2 月	連携・協力推進会議で審議
平成 26 年 4 月	運用の開始

(6) 本件問い合わせ先

連携・協力推進会議 これからの学術情報システム構築検討委員会事務局
国立情報学研究所学術基盤推進部 学術コンテンツ課 NACSIS-CAT/ILL 担当
メールアドレス : catadm@nii.ac.jp

【別紙】

総合目録データベースのデータ公開方法（案）

（1）データの範囲

書誌情報・所蔵情報・著者名典拠情報・統一書名典拠情報・参加機関情報をライセンスの対象とする。ただし、参照 MARC 情報は総合目録データベースには含まれない。

実際の公開にあたって対象となる範囲の制限については、国立情報学研究所と連携・協力推進会議が、協議の上、決定する。

制限の例：著者名の生没年は除外して公開する。

参照 MARC を流用して作成したデータは、契約上、可能なもののみ公開する。
所蔵情報は全件のデータセットとしては公開しない。

（2）具体的な方法

データの公開の方法は、以下の3つの方法を想定している。各方式において、実際のデータ公開にあたっては、より詳細な範囲や方法を検討し、国立情報学研究所と連携・協力推進会議が、協議の上、決定する。

①API を通じた公開

公開手段	CiNii Books の API
データの形式	RDF 形式, JSON 形式
取得方法	1 件ずつ取得（回数制限あり）
データ更新の頻度	週 1 回

②データセットとしての公開

公開手段	国立情報学研究所目録所在情報サービスのウェブサイトを通じて
データの形式	RDF 形式
取得方法	データセットとしてダウンロード
データ更新の頻度	数カ月に 1 回程度

③その他

外部機関から上記①②以外の方法でのデータ提供を求められた場合には、個別に協議の上、データ提供の可否と提供範囲を決定する。

【参考】CiNii Books の API に関する情報 http://ci.nii.ac.jp/info/ja/api/api_outline.html